

長尾



No. 230

TIMES

平成 26年 9月号

DISTRICT 336-A・4R・3Z

INTERNATIONAL
L.C NAGAO



＝ 目 次 ＝

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 表紙 (チャーターメンバー) | 10. 第51回チャーターナイト懇親会 |
| 2. 第51回チャーターナイト記念例会 | 11. 長尾ライオンズクラブ同好会名簿 ドネーション(第1208回例会) |
| 6. 4R・5R献血推進研究会に参加 | 12. 8月の誕生者 9月の予定 編集後記 |
| 8. 日本百名山・白馬岳に挑戦 | |

各家庭でも国民の祝日には国旗を掲揚しましょう

第1210回例会 チャーターメンバーを称える会



平成26年8月22日(金) 長尾ライオン
クラブ第1210回例会・第51回チャー
ターナイト記念例会・チャーターメン
バーを称える会が行われました。

第1部

多田敏雄会長あいさつ

今宵の例会は第1部はチャーターナ
イト記念会、第2部はチャーターメン
バーを称える会と懇親会となっております。
チャーターメンバーの白井敏隆さ
ん阿部信行さんのご出席を得まして昔
を懐かしみ又、現在の我が長尾ライオ
ンクラブの状況等を考えながら例会
を進めていきます。大勢の出席を頂き
ありがとうございます。

我が長尾ライオンクラブは昨年50
周年記念の年でした。今年
は次の50周年、次の半世紀へ向かっての
最初の年だというように考えています。
従いまして、今宵の第1部のチャター
ナイト記念会・第2部のチャーターメ
ンバーを称える会は、ほんの少しでは
ありますが新しい趣向を加味して進め
て参りたいと思っていますのでご協力
をお願いします。

長尾LC会長 多田敏雄 スローガン 「次の半世紀へ向け 力強く We Serve」

長尾ライオンズクラブ 第51回チャーターナイト記念例会



チャーターナイト記念会ですので「ライオンズクラブ国際協会の目的」および「ライオンズクラブ道徳綱領」を再確認するという事でGLT委員長 L. 中川宜興が朗読をしました。

ライオンズクラブ国際協会の目的

- ☆ライオンズクラブという奉仕クラブを結成し、認証状を交付し、監督する。
- ☆各ライオンズクラブの事業を統制し、運営を標準化する。
- ☆世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる。
- ☆よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- ☆地域社会の生活、文化、福祉及び公徳心の向上に積極的関心を示す。
- ☆友情、親善、相互理解の絆によってクラブ間の融和を図る
- ☆一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- ☆奉仕の心を持つ人々が個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するよう励まし、また、商業、工業、専門職業、公共事業及び個人事業の能率化を図り、道徳的水準をさらに高める。

ライオンズ道徳綱領

☆職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。

☆事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。

☆事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。

☆世人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。

☆真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心の触れ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。

☆国家及び地域社会に対する公民の義務を忘れず、変わらない忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。

☆不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。

☆批判は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊を避けること。

第2部

開宴の挨拶 GLT委員長 中川宜興

只今からチャーターメンバーを称える会並びに懇親会を始めます。

チャーターメンバーの皆さんにクラブの礎を築いていただきました。今年51年のスタートということで次の世代に向かって行こうと思しますのでよろしく願います。

チャーターメンバーに記念品贈呈



チャーターメンバーを囲む鼎談 ていだん

例年であればチャーターメンバーの一人に設立時の状況についてお話ししていただいていたのですが、今年は少々趣向を変えまして多田会長が質問者となってチャーターメンバーの方にお話をしていたことにしました。

①入会を決意した時のお気持ちを一言願います。

L. 白井敏隆

その時は、何がやら分からないままでした。ライオンズクラブがどんなものであるか分からず、妙な帽子を着てポロイスカウトかなんか外国人の真似をしとると思っていました。当時の会長が長尾町町長の小西欣也さんであったので町長の言うことを聞くというか・・・逃げまわじょったんですが逃げ回れんようになって取り押さえられました。というのは当時私は若いながら町会議員をしていましたので・・・

やろうという気持ちでした。また、胸のバッチと言うものが非常に名誉であるという感じがしていました。どこへ出張するときも必ずバッチを着けていました。バッチを着けていると新しい取引先に飛び込んでもバカにされなかったと記憶しています。

L. 阿部信行



大阪や東京でライオンズクラブを見て、なんかこういう会があるなあと思っていたら小西欣也さんが、入れ言うてきました。何のことか分からんけど地域の懇親会かと思っていました。小西

欣也さんがお仲間だったので弱ったなあ
と思いましたが。断るわけにもいかず入
りました。

発会式の際は東京で用事がありまし
て出ていなかったのですが、名前だけ
入れていただいていたのでチャーター
メンバーになっとるわけでございます。
私より年上の方が多くて興味は少なか
ったです。

②長尾ライオンズクラブは51年目にな
りますが、どんな魅力や理由があって
長く続けられたかお願いします。

L. 白井敏隆



いったんやりだした事は、そう簡単
にやめられんと言う気持ちがあり私は
やめようと考えたことは一度もありま
せん。40才で入って91才が目の前に来

ましたが、そういう一念で50年を過ご
してきたと思っています。

L. 阿部信行

私は白井さんのような考えでは50年間
過ごしていません。最初にやめようと
思った時、現在三木さぬきライオンズ
クラブの石川先生が幹事であって、
「今回、札幌で全国大会があるからお
前行って来い。長尾クラブの代表で行っ
て来い。」と言うことで札幌へ遊びに
行って来ました。喜び勇んで行って札
幌で全国大会に出て帰ってきて、ああ、
これはちょっとやめれんようになった
ぞと言うことです。その後もたびたび
ありましたが、やはり入っとる人のつ
ながりでつながってきて現在に至って
います。

(阿部さんが入会したのは30歳の時)

③ライオンズクラブは奉仕をするため
に集まった仲間であるという事で誇り
を持っているわけですが、その誇りに
対して我々長尾ライオンズクラブの有
り方は十分な奉仕活動が出来ているか
どうか、お叱りでも結構ですので活動
の内容についてお話を願います。

L. 白井敏隆
出来ていると思います。

L. 阿部信行

出来ていると思います。
外交的な辞令がうまいようです。お叱
りを頂くんじゃないかと思いましたが
お褒めの言葉を頂きました。褒美の言
葉に恥じないように努めたいと思いま
す。

乾杯の音頭 前会長 松原典士

料理を目の前にして大変お待たせし
ました。

乾杯の発声をいたしたいと思いま
す。今日は特別例会の中で色々と趣向を
凝らしていただきました。チャーター
メンバーを囲む鼎談と言う形で色々な
意見を頂きました。我々会員、大いに
参考にして長尾クラブが益々発展する
ようにお互いに協力していきたいと思
います。私が思うに協力と言うと強調
する事、助け合うという事がライオン
ズクラブが発展する基ではないかと思っ

ています。

今日はチャーターメンバーを囲む会
で楽しい特別例会及び懇親会ござい
ます。皆様方の益々のご発展と今後、
益々のご協力を頂きまして長尾ライオ
ンズクラブが誇れるクラブになります
ようにご祈念申し上げます。乾杯をし
たらと思えます。ご唱和いただきたい
と思えます。

カンパニー



4R・5R献血推進研究会に参加

L.多田 敏雄

香川県赤十字血液センター主催による4R・5R合同の献血推進研究会が、8月24日(日)に高松国際ホテルで開催された。長尾ライオンズクラブから会長 多田敏雄と環境保全・保健福祉・アラート委員長 富田哲士が出席。献血推進研究会で学んだ主要点は次のとおりである。

▼みなさんの善意の献血が、貴い命を救います。

血液は、栄養や酸素の運搬、免疫など人間の生命を維持するため不可欠。現在、血液の機能を完全に代替できる手段はないため、医療において輸血は欠かすことができない治療法となっている。血液は人工的に造ることができず、さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできない。輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくために、絶えず誰かの献血が必要である。

▼献血を日本赤十字社がおこなっているのはなぜか。

我が国の血液事業は、売血方式から始まりましたが、民間の商業血液銀行の輸血用血液は質が低く、輸血後に肝炎が持続し、また頻回献血者の健康悪化が問題となっていました。昭和39

年、政府は血液事業の正常化を図るために輸血用血液製剤は献血によって確保することを閣議決定しました。国・地方公共団体は、献血思想の普及と献血の組織化を図り、日本赤十字社は献血の受け入れを行うこととなり現在に至っている。

▼血液が回復するまでの期間はどれ位ですか。

血液は常に体内で再生産され、血小板、血しょうの成分献血の場合、1週間程度で元に戻ります。400ml献血の場合、赤血球は3〜4週間で回復するといわれています。

▼なぜ、400ml献血をすすめられるのですか。

人間一人ひとりの血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違っている。このため複数の献血者からの血液をあわせて一人の患者に輸血するほど、副作用(発熱、発疹など)発生の可能性が高くなるからです。

▼少子高齢社会を迎えて献血の将来はどうなるか。

輸血用血液製剤や血漿分画製剤の多くは高齢者の医療に使われており、輸血用血液製剤の約

85%は50歳以上の方々に使用されている一方で、献血いただいている方の約74%は50歳未満の方々であり、輸血医療を大きく支えています。しかし、若年層の献血者数は減少傾向にあります。日本の少子高齢化が今後ますます進んでいくと、血液需要の増加が見込まれている将来の安定供給に支障をきたす恐れがあります。今後の安定供給のためにも、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠になります。



長尾LC会長 多田敏雄 スローガン 「次の半世紀へ向け 力強く We Serve」

香川県内ライオンズクラブ別献血状況 (2013~2014年度)
 4 R の各クラブ (5R 省略)

| ゾーン | クラブ名 | 献血数 | 実施日数 |
|-------|--------|-------|------|
| 1 | 高松 | 254 | 5 |
| | 小豆島 | 288 | 6 |
| | 小豆島東 | 214 | 5 |
| | 高松葵 | 118 | 2 |
| | 高松南 | 368 | 7 |
| 2 | 高松東 | 191 | 3 |
| | 高松西 | 212 | 3 |
| | 直島 | 27 | 1 |
| | 八栗 | 254 | 3 |
| | 高松源平 | 127 | 3 |
| | 高松中央 | 143 | 2 |
| 3 | 東かがわ | 261 | 2 |
| | 長尾 | 239 | 5 |
| | 志度 | 166 | 2 |
| | 三木さぬき | 197 | 3 |
| | 高松グリーン | 168 | 2 |
| 4 | 高松玉藻 | 178 | 3 |
| | 高松栗林 | 111 | 2 |
| | 高松屋島 | 166 | 2 |
| | 高松紫雲 | 233 | 3 |
| | 高松空港 | 328 | 4 |
| | 高松北 | 397 | 5 |
| リジョン計 | | 4,640 | 73 |

▼香川県内ライオンズクラブ協力状況

2013年度香川県での献血者数は3万8千680人、2013~2014年度香川県内ライオンズクラブ協力時献血者数は8千327人、時間的に少しずれがあるが近い1年間で単純に計算すると、その割合即ち協力状況は21%になる。



参加者30名・全員登頂成功

日本百名山・白馬岳に挑戦

さぬき里山会 会長 松原典士



さぬき里山会は年齢構成を見ると30歳代から80歳代まで幅広く入会し、会員が山歩きに挑戦したことにより同年代に比べて元気な方が多いようです。行事は毎月3回行っており、各年齢層が参加でき楽しんでもらえる工夫を取り入れています。

体力的に無理なく手軽に挑戦できる里山や少しベテランになると高度の技術を必要とする日本百名山の登山にも挑戦しています。

四国霊場の歩き遍路は仲間の絆をより深めることができ喜びました。今年は四国霊場開創1200年を記念して体力的に自信のない方でも参加できるようパスツアーで霊場巡りを始めています。

その他、国民の祝日には長尾ライオンズクラブに協力して大鉢山の国旗掲揚や、登山道、遍路道の清掃等ボランティア活動も行い多くの方に喜ばれています。

さぬき里山会として今年には日本百名山の中でも名峰と謳われている4座（祖母山・天城山・白馬岳・日光男体山）に挑戦することになっています。中でも8月2日から4日にかけて国内でも最も登山技術が必要とする山の一つである白馬岳に挑戦しました。

白馬岳は夏なお豊富な残雪を抱く大雪渓と雲上のお花畑が登山者を魅了するアルプスの名峰で登山者の憧れの的となっています。標高2千932m、標高差登り1千950m、下り1千338m、コース距離15.7kmと登山レベルは上級者向けです。

前日夜行バスに揺られて十分に睡眠はとれなかったが、翌朝アルプスの峰々が一望できるようないい天気に恵まれ登山準備の後6時に猿倉からスタートを切りました。灌木が茂る林道を登ると白馬尻に着き、白



馬尻小屋で休憩を取り大雪渓を望むと多くの登山者が登っているのが見え元気を取り戻しました。慣れないアイゼンに手間取りながらも一歩雪渓に踏み出すことができました。大雪渓を登頂するだけで2時間もあり、途中高山病で体調を壊した方のリュックを背負うと余計足に負担がかかり大変な思いをしました。気分を和ませてくれたのは雷鳥の可愛いしぐさと鮮やかに咲き競うミヤマキンポウゲやハクサンフウロなどのお花畑が迎えてくれて元気を取り戻すことができました。



長尾LC会長 多田敏雄 スローガン 「次の半世紀へ向け 力強く We Serve」

キーワード 「ヴィジョン共有」



先頭は予定していた到着時間より2時間近くも早く午後1時半過ぎに、後続の方も1時間遅れで全員無事白馬山荘に着きお互いの健闘を拍手で喜び合いました。

夕食まで時間がたっぷりあるのでその日のうちに白馬岳の頂上に立った方もいたし、レストハウスでのんびりくつろいだ方もいて至福の一時を楽しみました。

夜中は土砂降りの雨音で目が覚めましたが翌朝4時半出発する頃は雨も止みますすがすがしい気分です。白馬岳の頂上に立ち小さなガッツポーズをとりました。朝霧の中雪渓を抱えているアルプスの



峰々を望むことができ、小蓮華山を経由して稜線を更に進むと雷鳥と何羽も出会えたのが印象に残りました。

雷鳥坂を下りると白馬大池の辺りで少し早い昼食を取り最後の難所である乗鞍岳に向かいました。大岩の積み重なった斜面をやっとの思いで登りきると頂上に立つことができました。

霧雨が降ったのか岩が湿って滑りやすく下山道もぬかるんでいたのが悪戦苦闘しながらゴール地点である梅池自然園に着き緊張感がとけ心地よい満足感を得ることができました。

厳しい道のりでしたが参加者30名全員怪我も無く喜びの金字塔を打ち立て



ることができ感動を覚えました。

ロープウェイとゴンドラリフトを乗り継ぎ山麓の梅の湯で疲れを癒して帰路に着き夜中の12時過ぎに無事帰宅できました。

留守中、四国は台風12号の影響を受け記録的な大雨となり避難勧告・指示が出され被害も続出したとお聞きしました。こうした中白馬岳登山は雨具も使うことなくまずまずの天候に恵まれたのはさぬき里山会の「ツッキ」とお互いに助け合う心で夏山登山を終えた「キズナ」であると確信しました。

今後もこの絆を大切にしたいものだと決心を更に深めました。





*欠席者は前年通りとします

平成26年8月22日

| 平成26年度長尾ライオンズクラブ同好会名簿 | |
|-----------------------|---|
| 囲 碁 (8名) | 〈 幹事 L井上信明 〉 L玉木一将・L村尾良明・L鶴居 健・L国方 弘・L土草繁夫・L安西賢次・L山本功一 |
| 麻雀 (9名) | 〈 幹事 L入谷 武 〉 L安西 勝・L渡辺 稔・L石井利夫・L井上信明・L村尾良明・L丸山秀男・L田中克己 L松岡則良 |
| ゴルフ (18名) | 〈 幹事 L富田義雄 〉 L佐藤邦明・L玉木一将・L丸山秀男・L植原成典・L真部廣司・L松岡則良 L多田敏雄・L村尾良明・L土草繁夫・L富田哲士・L安西賢次・L坂本 進 L藤沢健三・L安松 均・L渡辺 稔・L坂東 護・L中川宜興 |
| 釣 り (7名) | 〈 幹事 L山下泰司 〉 L松原典士・L三好 緑・L藤沢健三・L柿木眞一・L林 誠二・L滝川茂美 |
| 旅 行 (9名) | 〈 幹事 L森川康生 〉 L松原典士・L安部 好・L滝川茂美・L柿木眞一・L池田正敏・L安西 勝 L山本功一・L鶴居 健 |
| カラオケ (14名) | 〈 幹事 L十河清隆 〉 L国方 弘・L六車十三日・L三木啓司・L渡辺 稔・L石井利夫・L多田敏雄 L中川宜興・L田中直樹・L六車誠司・L阿部信行・L坂本 進・L柿木眞一 L寒川清一 |
| グ ル メ (19名) | 〈 幹事 L山下泰司 〉 L富田哲士・L山本功一・L三木啓司・L田中克己・L松木正美・L植原成典 L寒川正行・L佐藤邦明・L阿部信行・L松原典士・L十河清隆・L三好 緑 L安松 均・L国方 弘・L十河 護・L田中直樹・L六車誠司・L林 誠二 |
| ハイキング (12名) | 〈 幹事 L入谷 武 〉 L富田義雄・L寒川正行・L寒川清一・L十河 護・L松木正美 L松原典士・L森川康生・L安部 好・L坂東 護・L池田正敏 L六車十三日 |

ドネーション

第1209回例会

平成26年8月1日

| 氏名 | どんなことで |
|------|---|
| 国方 弘 | 毎度のドネーションに感謝致します |
| 土草繁夫 | 7月23日、高松グランドカントリークラブでゴルフ大会が開催され3ゾーンの大会で優勝。ベストゴルフ賞もいただきました。久しぶりに団体優勝もしました。 |
| 多田敏雄 | 長尾タイムス8月号が発行されました。ご愛読をお願いします。 |
| 柿木眞一 | 白馬岳の初登頂が無事できますように |
| 入谷 武 | 7月27日の私の記念祝賀会にはライオンの皆様のご出席を頂き無事終える事が出来ました。本当に有りがとうございました。 |
| 井上信明 | 先日の入谷さんの叙勲祝賀会におまねきいただき有難うございました。終始ご盛会で大変お目出度うございました。 |
| 坂本 進 | 妻の誕生日を祝って |
| 松木正美 | 8月は誕生日です。67才となりました。70才まで生きられることを願います。 |

ホームページ <http://www.nagaolc.jp/>

